

令和7年度

音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究事業

「デイジー教科書事例報告会」

日本障害者リハビリテーション協会のデイジーに対する取り組みと
デイジー教科書の利用申請状況報告

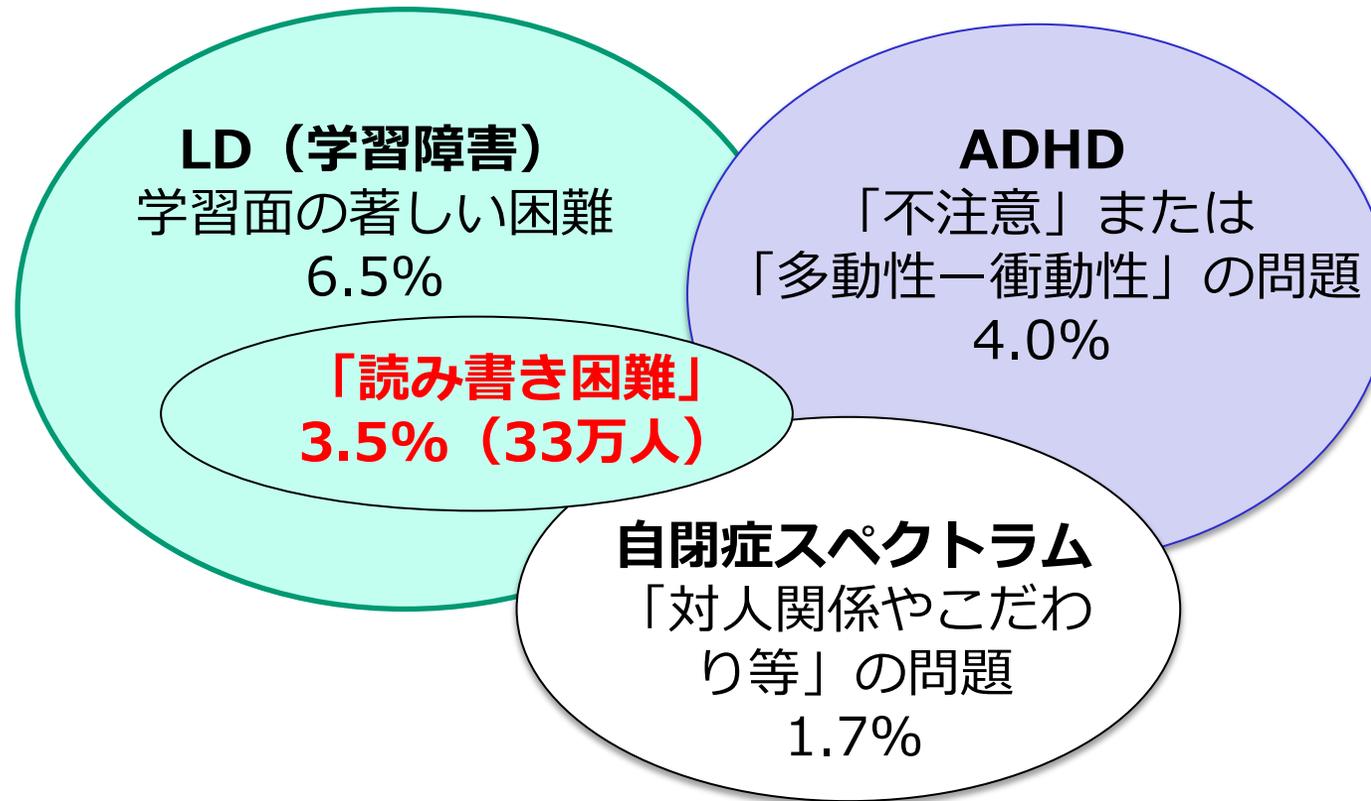
公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
情報センター長 村上 博行

楽しく読むために



デイジーを必要とする子どもたち

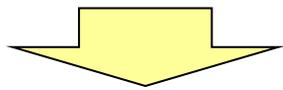
全国小中学校の通常学級在籍の約8.8%（推定値）
児童生徒数約942万人



令和4年12月「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

読みの困難さとは

「記号」である文字を「音」として認識することが困難だったり、
名称を想起する速度が遅いことによって起こると言われています。
また、見え方にも困難さがある場合があります。 ※

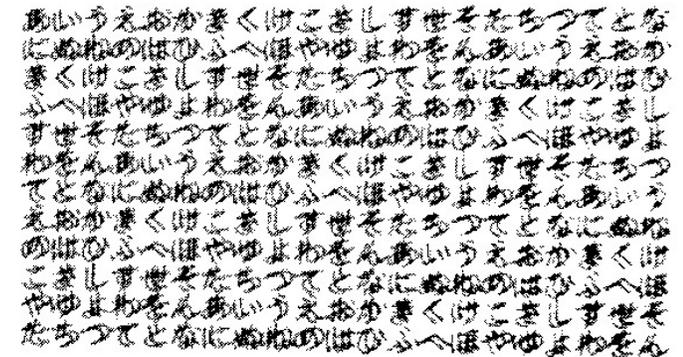


- 逐次読みになってしまう
- 勝手読みをしてしまう
- 単語の切れ目が判らない
- 漢字や熟語が読めない

「きょう」と「きのう」
の区別が難しい

きょう
きのう

文字を長い間見ていると
ピントが合わなくなる

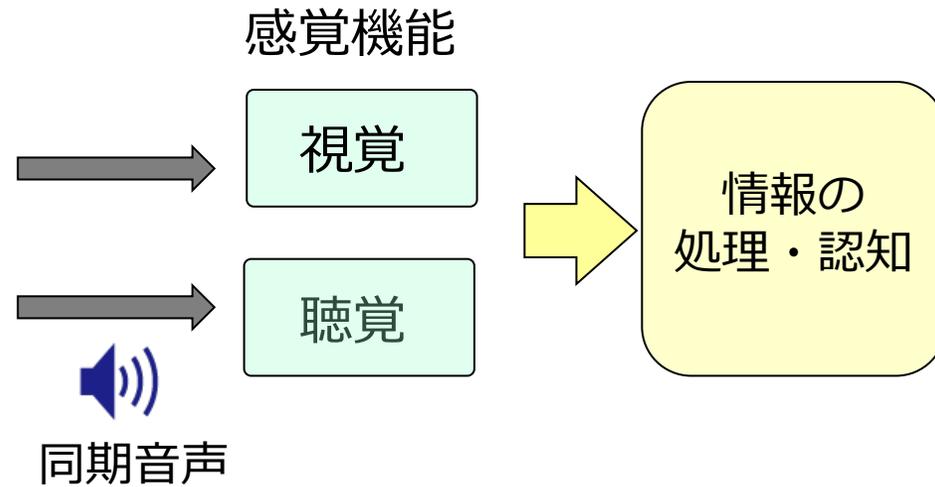


※小澤彩果. "学びと読書の楽しさを教えてくれたDAISY". 新ノーマライゼーション.
(公財) 日本障害者リハビリテーション協会. 2025年2月号. P.10-11

マルチメディアデイジーにより理解ができる

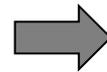


兵十がいなくなると、ごんは、ひよと草の中からとび出して、びくのそばへかけつけました。ちよいと、いたずらがしたくなかったのです。ごんはびくの中の魚をつかみ出しては、はりきり網のかかっているところより下手しよこの川の中を目掛けて、ばんばんなげこみました。どの魚も、「とほん」と音を立てながら、にこった水の中へもぐりこみました。



現状（紙）

読むこと自体に一生懸命で
内容が入ってこない



デージー図書

読みの負担が減って
内容の理解に集中できる

- ・ハイライトで場所が分かる
- ・音声で効果的に伝わる

デジタル図書の再生画面

The screenshot shows a digital book player interface with the following callouts and features:

- 再生停止** (Pause): Callout pointing to the left arrow icon.
- 前の文 次の文** (Previous/Next Paragraph): Callout pointing to the double left and double right arrow icons.
- 次の見出し 前の見出し** (Next/Previous Chapter): Callout pointing to the up and down arrow icons.
- 拡大縮小** (Zoom In/Out): Callout pointing to the minus and plus magnifying glass icons.
- 早く遅く** (Fast/Slow): Callout pointing to the turtle and rabbit icons.
- 色の変更** (Change Color): Callout pointing to the paint palette icon.
- 設定変更** (Change Settings): Callout pointing to the gear icon.
- 再生切替** (Toggle Playback): Callout pointing to the list icon.
- ルビ種切替** (Toggle Reading Mode): Callout pointing to the 'ALL' icon.
- 縦書き横書き** (Vertical/Horizontal Writing): Callout pointing to the vertical writing icon.
- ページを選択して移動** (Select page and move): Callout pointing to the 'ページ' (Page) tab in the table of contents.
- 読みたいところの見出しをクリック** (Click the chapter heading where you want to read): Callout pointing to the chapter heading '六' in the table of contents.

The main content area displays a page from a book titled 'ごん狐' (Gon the Fox). The page number '六' (Six) is highlighted in yellow. The text is written vertically in Japanese, with some words highlighted in yellow. An illustration of a fox is visible on the left side of the page.

マルチメディアデイジー化の取り組み

- マルチメディアDAISY教科書
小学校・中学校の教科書（約9割）
視覚障害者等の印刷物を読むことが困難な児童・生徒へ提供
※ 「新配信システム」の開始
- マルチメディアDAISY図書
どなたでも楽しめるマルチメディアDAISY図書
- DAISYライブラリー
視覚障害者等の印刷物を読むことが困難な方のみ
- デイジー子どもゆめ文庫
小学校の国語の教科書が推薦している児童書を中心
視覚障害者等の印刷物を読むことが困難な方のみ
- 障害者白書
内閣府より委託 マルチメディアデイジー版を初めて製作・提供。
誰でも自由にダウンロード

- 小学校・中学校の検定教科書の約95%がマルチメディアデイジー化
 - 視覚障害者等の印刷物を読むことが困難な児童・生徒へ無償提供
 - 日本語に通じない外国籍等の児童生徒へも無償で提供開始 ※
- ※ 2024年6月に教科書バリアフリー法の一部改正が行われ、特に障害が無い日本語に通じない外国籍等の児童生徒にもデイジー教科書が提供できるようになりました。

デイジー教科書の提供状況（2026年1月12日現在）

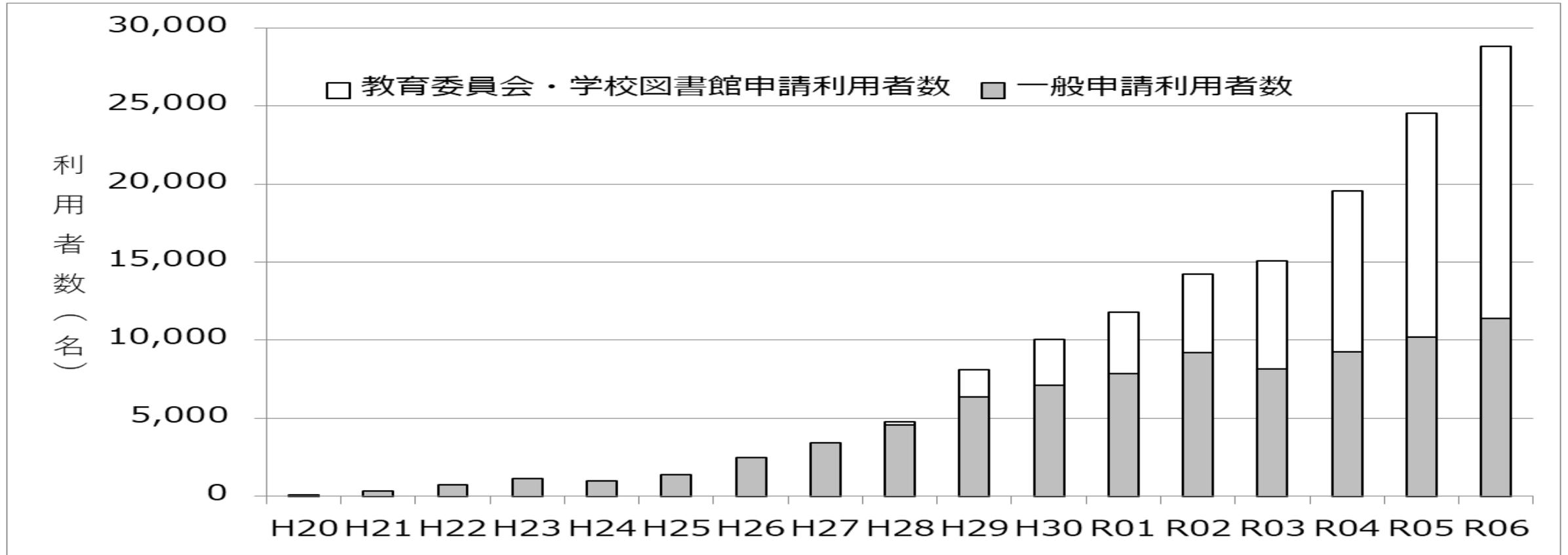
● 教科書

- 小学校 256冊（検定教科書数259冊：99%）
- 中学校 136冊（検定教科書数142冊：93%）
- 特別支援学校 22冊（知的障害者用☆本）

● 利用生徒

- 一般提供申請
11,345名（令和6年度:11,377名）
- 教育委員会、学校図書館申請
735団体（令和6年度:646団体 17,464名）

デジタル教科書の利用申請状況

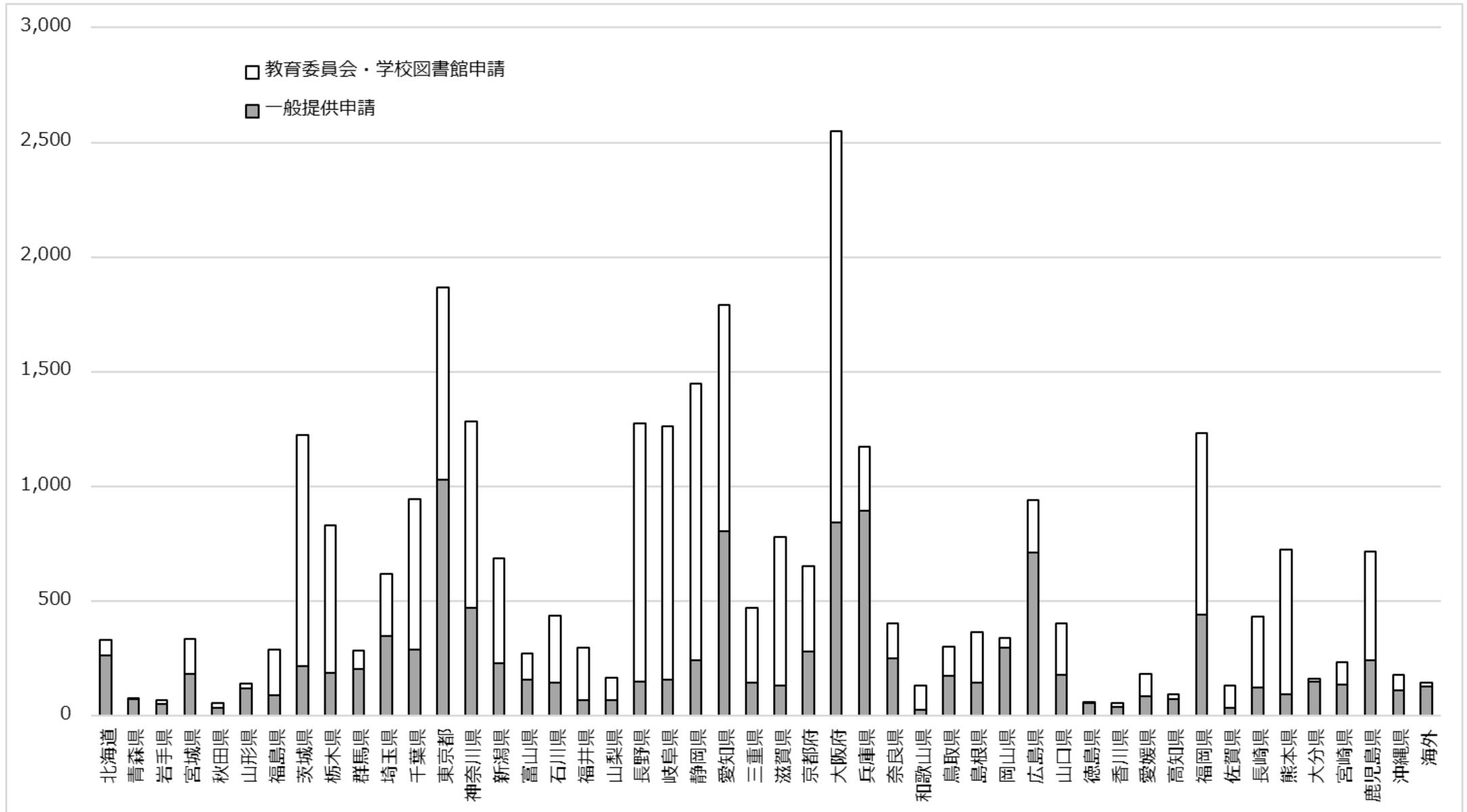


	令和5年度	令和6年度	
教育委員会、学校図書館申請 :	14,358名	17,464名	
一般申請 :	10,202名	11,377名	➔
合計 :	24,560名	28,841名	

※日本障害者リハビリテーション協会の集計データによる

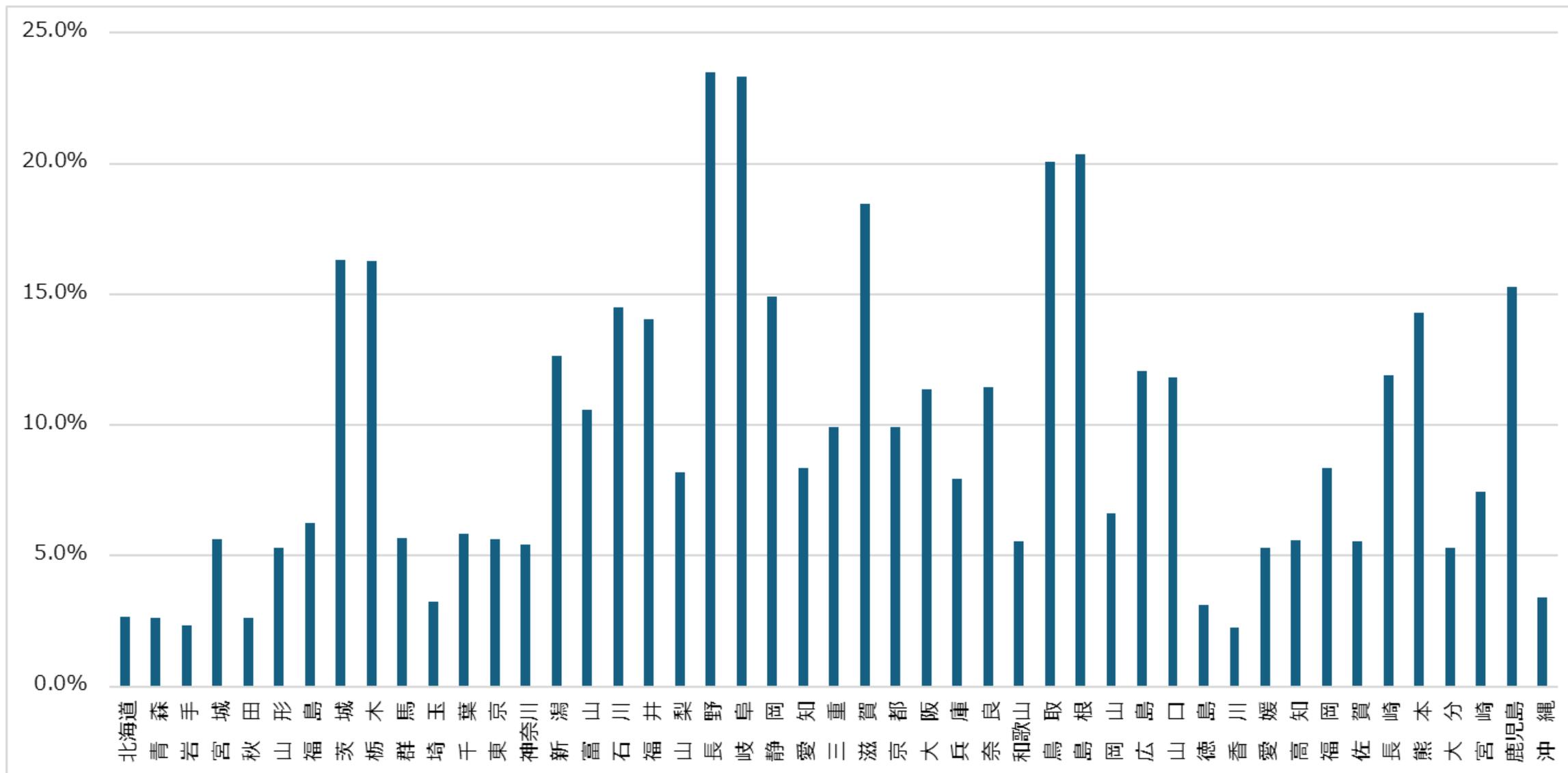
日本語に通じない児童生徒 : 2,493名

令和6年度 都道府県別デিজィー教科書利用者数

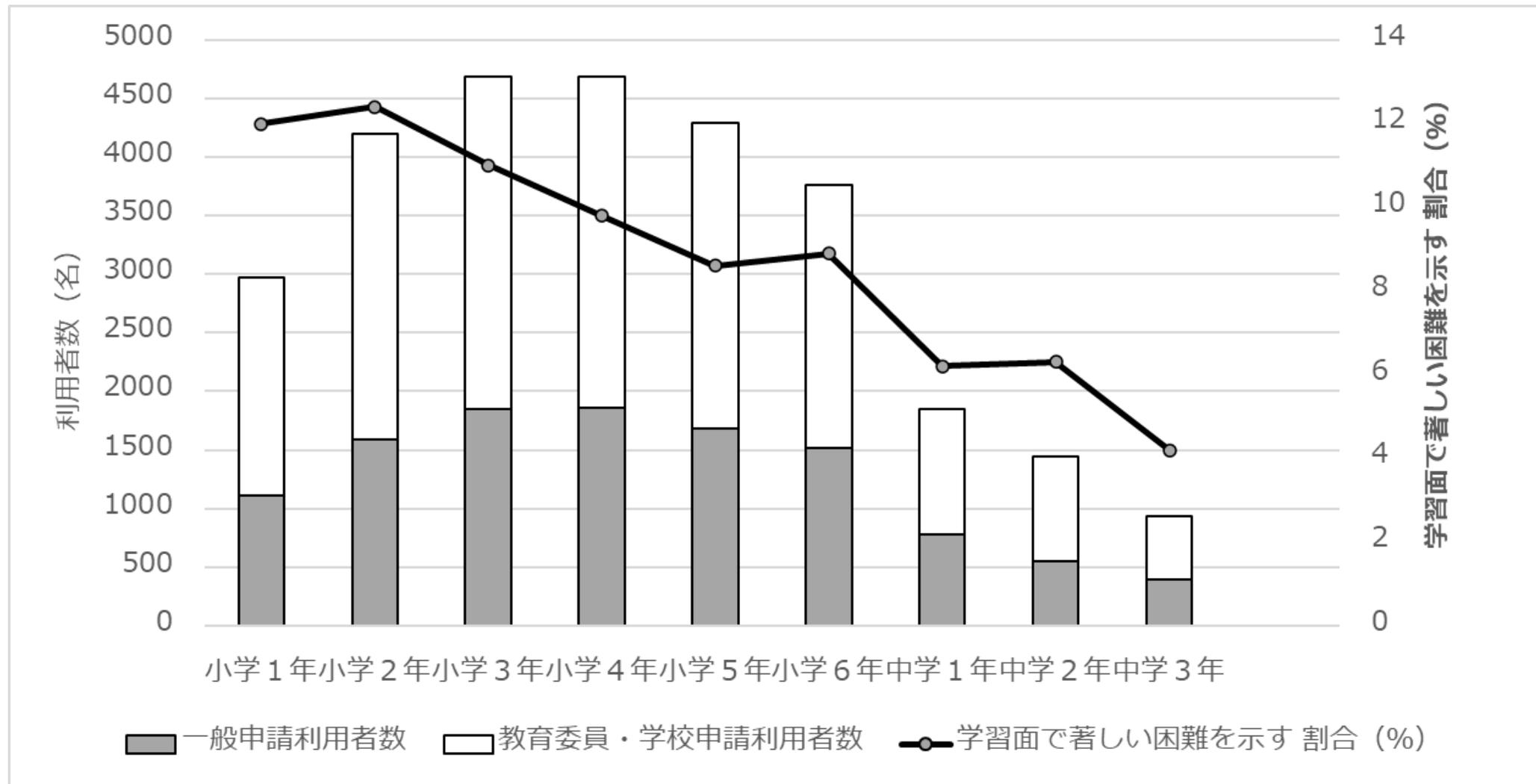


令和6年度 都道府県別デイジー教科書普及率

普及率 = デイジー教科書利用者数 / 児童生徒数 (令和5年度: 文部科学省統計資料) × 3.5%



令和6年度 利用者学年内訳



令和4年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」より学習面で著しい困難を示す割合を参考に提示

参考：アンケート実施

- 令和6年度 教育委員会申請における日本語に通じない児童生徒利用について
 - (1) アンケート方法
R6年度教育委員会申請にメールで回答を依頼
実施期間（R7年6月～7月）
 - (2) 回収結果
133団体より回答を得た
 - (3) 日本語に通じない児童生徒の利用についてのコメント（回答数59より42の意見・感想を抜粋）

1. アンケート方法と回答率

1) アンケート方法

- R6 年度教育委員会申請にメールで回答を依頼
- 実施期間(R7 年 6 月～7 月)

2) 回収結果

- 133 団体より回答を得た

3) 日本語に通じない児童生徒の利用についてのコメント(回答数 59 より 42 の意見・感想を抜粋抜粋)

- 本市では、2名の多文化多言語の児童・生徒に対して、デージー教科書を活用した日本語指導支援を行っています。学校からは、特に国語の音読練習でよく活用しているとお聞きしています。学習者用デジタル教科書の導入が限定的であり、全教科の導入の見通しが立っていない現状で、全教科のデージー教科書が使用できることは大変ありがたいことだと感じています。
- 昨年度から少しずつ学校でも周知されるようになってきており、教育委員会への問い合わせもあつた。保護者も日本語が得意な訳ではないため、デージー教科書の目的や使い方、気を付けて欲しい点を説明することが難しいという悩みが聞かれた。
- アンケートには反映されていない部分があるが、日本語指導加配校対応教員等で使用させていただいています。日本語に通じない児童生徒の支援に欠かせないものです。
- 本市では多くの外国籍児童が利用させていただいており、日本語の早期習得につながっていることから、引続き利用させていただきます。
- 使用した効果が大いにあり、来年度も継続を希望している
- 本市は、日本語指導が必要な児童生徒が増加しているため、無償で利用できるのが大変ありがたいです。
- 日本語指導教室に通う児童生徒は、家庭学習でもデージー教科書の活用が有効だと思う。学校と連携をして利活用を進めていきたい。
- 昨年度途中から、日本語に通じない児童生徒の利用が可となり、利用者数は増加しています。
- 外国籍児童生徒の増加にともない、利用者数も増加しています。引き続きよろしく願いいたします。
- 日本語に通じない児童生徒については、分かち書きで読み取りやすい文章にできたり、日本語習得に役立つシャドーイングの機能が自由に利用できたりすると、より便利と考えます。
- 読み上げ、ルビ振り等が有効であるということで、積極的に検討させていただいております。
- 日本語に通じない児童・生徒数は増加傾向にあり、日本語適応指導や多文化キッズサロン等の利用者数も増えている。このような子どもたちにとって、デージー教科書はおおいに役立っている。しかし、「小学校低学年だと操作が難しい」、「自宅に持ち帰ってもインターネット環境がない」、「データ保存に制限がかかるため、オフライン再生ができない」等の声が上がっている。そこで、低年齢でも簡単に扱える操作性の向上、ブラウザのキャッシュ保存以外の方法でのオフライン再生方法があるとさらに使いやすくなると考えている。”
- 昨年度後半くらいから外国籍と思われる方の申請が急激に増えており、状況把握の必要性を感じている。

- デイジー教科書に関わらず、現状としてニーズは益々増えてくるものと考えております。(英語・中国語)
- 例年、日本語の読み書きが十分でない児童生徒は一定数おります。先般、日本語の通じない児童生徒向けにも使用対象を拡大していただき、大変助かっております。今後も継続して使用できるよう、ご配慮のほどよろしく願いいたします。
- 日本語に通じない児童・生徒が、他の児童・生徒と一緒に授業を受ける際、1人1台端末を用いて、デイジー教科書を利用することで、協働的な学びを推進することが出来ています。
- 家庭での予習復習での使用、国際教室での指導時以外での活用等、支援の幅が広がっています。
- 日本語に通じない児童生徒の利用ができるようになる前にも希望はあったこともあり、利用が増えていると感じた。今後も周知していきたい。
- 日本語を音声化するだけでは理解が難しい児童生徒がいる。デイジー教科書の役割から外れるかもしれないが、辞書機能や翻訳機能がつくと、より使いやすいのではないかと考える。
- 日本語に通じない児童、生徒にとってデイジー教科書の読み上げ機能やルビ振り機能が指導に良い効果をもたらしているという現場からの声も聞いています。デイジー教科書活用の意義が広まったことの意義だなと感じます。
- 本市では、外国にルーツがある児童生徒が増加傾向にあり、今後もその数はさらに増えることが予想されます。こうした子どもたちにとっても、デイジー教科書は有効な支援ツールとなる可能性が高く、そのニーズは今後ますます高まると考えられます。デイジー教科書は、学習に困難さのある児童生徒や特性に配慮が必要な児童生徒だけでなく、日本語を母語としない児童生徒にとっても活用できることを、今後も年度当初などの機会をとらえて、市内の小・中学校に周知していきたいと考えています。
- 外国籍の児童生徒が急増しております。会話程度はできても、教科書等を読めない児童生徒にとって視覚と聴覚から学べるデイジー教科書は、日本語の習得においてもとても有効です、本当にありがとうございます。
- 本市では、昨年度より使用したいというケースが出てきている。
- 全教科でルビ付きで音声による読み上げがあることで、途中で日本に来た児童生徒にとって、漢字の読み方や、発音を確認することができてとてもありがたいです。
- 文章の表示に「分かち書き」を加えていただけるとありがたいです。
- 画面表示が元の教科書と違うレイアウトになってしまうことがあります。
- 読み上げの音声をより自然なものにしていただけるとより使用しやすくなると思います。
- 昨年度途中から市内の申請を受け付け始めましたが、今年もニーズが多いと感じています。いつでも自分のペースで用途に応じて使うことができるので、日本語習得に向けても、大きな手助けとなっています。
- 翻訳ソフト等を用いて、コミュニケーションの補助にしているが、精度も今一步であるため、デイジー教科書も効果的に使いたいと考えている。日本語通じない児童生徒への効果的な使用方法を教えてください。
- 日本語を文字として読めない児童生徒にとっては、音声で聞くことができるデイジー教科書は利用価値が高い。
- 少数の子ですが、デイジー教科書を効果的に活用しています。ありがとうございます。

- 多くの学校から利用希望や報告がある。法改正により、日本語に通じない児童生徒も利用できるようになり、大変感謝している。支援が必要な子が増えていく現在、引き続き活用させていただきたいと考えている。
- 母国語に翻訳できる機能があるとありがたいです。
- デイジー教科書が周知されるにつれ、日本語指導を受ける児童生徒の利用者も増加している。初期段階では日本語を聞くことも重要な要素のため、日本語の文字と音声を結びつける読み上げ機能は子供にとって大きな支えとなっている。限られた日本語指導時間の中で日本語の力を育てるためにも、学校の学びと家庭をつなぐデイジー教科書の存在は重要な役割を果たしている。
- DLAの結果で外国籍児童生徒はデイジー教科書を使用しているが、外国籍全ての児童生に使用許可をいただけるとありがたい。”
- 他市、他県での活用状況や効果的な活用方法について知りたい。
- 日本語指導教室で個別に使用できてありがたいです。
- 障害をもつ子ども以外の多様な子どもたちにとって読み書きの困難さの解消になっており、授業により意欲的に取り組むことができるようになっている。
- 日本語に不慣れな児童生徒にとって、マルチメディアデイジー教科書は大きな助けとなっており、実際に必要とする子ども達の数も年々増加しています。音声と文字の両方から学べることで、授業への理解度も高まっています。
- 外国籍の子どもについては、別のアプリを使って翻訳をして活用しています。
- 日本語に通じない児童生徒が、日本語指導の中で利用している。
- ふりがな表記、音声読み上げ、ハイライト効果、多言語への変換が役立っています。

以上